

○基本情報

記載日

平成28年2月15日

団体名	公益財団法人 神戸国際協力交流センター	所管局名	市長室
設立目的	神戸のさらなる国際都市としての発展を目指し、開発途上国を中心とする諸外国の抱える諸問題の解決のための国際協力をを行うとともに、市民の国際交流の促進、多文化共生の推進などにより、地域の国際化を進め、もって国際社会の平和と繁栄に寄与すること		

M

市が団体に求めるミッション

長期 神戸のさらなる国際都市としての発展を目指し、関係機関やボランティア団体等との連携・協働により、開発途上国を中心とする諸外国の抱える諸問題の解決のための国際協力や、市民の国際交流・多文化共生等地域の国際化を促進する。

3年

- 1・・・神戸に強みのある防災分野及び経済交流につながる国際協力を進める。
- 2・・・多文化共生を目指し、外国人が住みやすいまちづくりを進めるとともに、市民の国際交流促進に向けた具体的施策を実施する。
- 3・・・多様な国からの留学生を支援し、海外との架け橋となる人材育成とネットワークの醸成を図る。
- 4・・・海外事務所を運営し、経済交流、シティセールスを推進して、地域経済の活性化につなげる。

【2020ビジョン及び部門別計画等との関わり】
 将来の経済交流につながる分野における国際協力について、2020ビジョンで掲げる「神戸の産業の国際化推進」を実現するために必要な事業を展開する。

V

市民に提供する価値

1

2

3

4

JICA等と連携し、震災経験都市の責務としての防災分野の国際協力をを行うとともに、アジア諸都市との経済交流につながる国際協力を実施。

外国人市民の日本語学習支援や生活相談、公的機関への相談時の通訳支援等を実施し、地域社会における外国人市民の暮らしやすさを向上。国際交流への市民参加推進及び活動を支援。

留学生ネットワークの醸成および留学生と市民との交流の促進。留学生の情報発信力を活かした神戸市の魅力向上。

天津及び上海において海外事務所を運営し、経済交流、港湾物流、インバウンド観光などシティセールスを支援。

T

事業目標 Target

A

B

C

D

- ・コミュニティ防災や防災計画策定のための研修をJICAから受託して実施。
- ・経済交流につながる分野での国際協力事業の実施。

- ・日本語学習者とボランティアのマッチングなど日本語でのコミュニケーションを十分に行えない方の支援。
- ・生活相談や電話通訳、同行通訳などの支援事業等の実施。
- ・国際協力・国際交流団体等との連携を強化し、国際交流フェア等の各種事業を展開し、市民の国際交流を促進。

- ・神戸市奨学金の奨学生に対するフォローアップの実施による人的ネットワークの形成。
- ・市内の文化施設見学支援などを行い、神戸と留学生の母国との交流の懸け橋となる人材育成の推進。
- ・留学生の視点による情報発信を働きかけ、市民と留学生との交流を促進。

- ・天津では北京に近いという地の利を生かして中国政府の情報収集や交渉支援にあたる。
- ・上海では神戸港に関連する事業(貨物・客船誘致)や観光客誘致などを中心に取り組む。

※27-29年度中期経営計画にリンク

平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年8月17日
団体名	公益財団法人 神戸国際協力交流センター	所管局名	市長室

○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	1-A	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 1)
H29事業目標	①将来の経済交流につなげるため、国際協力調査事業を実施する。 ②ベトナムハナム省の職業訓練短期大学の職員を対象に、ものづくり人材育成支援を行う。 ③JICAからの受託研修として、コミュニティ防災及び防災計画策定に関する研修を実施する。		
H29実績評価	①28年度に開催した国際協力検討会議の方針に基づき、カンボジアにおける教育支援による人材育成の取組に向けた現地調査を実施するとともに、30年度からの市教員OB派遣に向けて、カンボジア王国教育青少年スポーツ省及びCIESFと協力協定を締結した。 ②ベトナム・ハナム省におけるものづくり人材育成事業の2年目として、専門家派遣(2回)及び訪日研修(1回)を実施し、同大学の教育内容改善の支援をした。 ③防災計画の策定やコミュニティ防災に関する研修を実施した(5研修(のべ6研修)38カ国74人参加)。		評価 S A B C
H30事業目標	①カンボジアにおける教育人材育成のため、市教員OBを同国小学校教員養成校に派遣する。 ②ベトナムハナム省の職業訓練短期大学の職員を対象に、ものづくり人材育成支援を継続して行う。 ③JICAからの受託研修として、コミュニティ防災及び防災計画策定等に関する研修を実施する。		
評価担当者	総務課長 谷口英雄		

事業No.	2-B	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 2)
H29事業目標	①日本語サポーター講座の実施によるサポーターの育成や、日本語学習者とサポーターのマッチングを行い、日本語で十分にコミュニケーションを図れない方の学習・生活支援を行う。 ②ホームページに7言語及びやさしい日本語で生活情報を掲載するなどの情報提供や、電話通訳・同行通訳などの支援事業等を行う。 ③国際協力・国際交流団体等との連携を強化し、国際交流フェア等の各種事業を展開する。		
H29実績評価	①外国人などの日本語学習者とサポーターのマッチングや学習の場の提供(のべ29,830人参加)、日本語サポーター講座を実施した(入門講座:7回コース3回65人参加、実践講座:8回コース1回12人参加)。30年度からの日本語学習者の受け入れ拡大に向けて、会議室の改修を行った。 ②7言語とやさしい日本語で最新の生活情報をホームページに掲載する神戸リビングガイドを運営した。また、区役所窓口での外国人市民と区職員のやりとりを電話で通訳する三者通訳を実施した(120件)。さらに、公的機関での外国人市民の相談等に通訳を派遣する同行通訳を実施した。(69件) ③神戸国際交流フェア(約16,000人参加)、神戸コミュニティフォーラム(100人参加)を始め、ゆかたの着付けや書道体験など様々な多文化交流会を実施した。		評価 S A B C
H30事業目標	①日本語サポーター講座の実施によるサポーターの育成や、日本語学習者とサポーターのマッチングを行い、日本語でのコミュニケーションを十分に行えない方の学習・生活支援を行う。 ②ホームページに7言語及びやさしい日本語で生活情報を掲載するなどの情報提供や、電話通訳・同行通訳などの支援事業等を行う。 ③国際協力・国際交流団体等との連携を強化し、国際交流フェア等の各種事業を展開する。		
評価担当者	総務課長 谷口英雄		

事業No.	3-C	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 3)
H29事業目標	①神戸市奨学金の奨学生同窓会を運営し、人的ネットワークの形成を行う。 ②留学生に対して神戸への理解や愛着を深めていただくことを目的に、市内施設の無料見学バスの発行などを行うとともに、市民と留学生との交流事業を実施する。 ③留学生の視点による情報発信(FacebookなどSNSを使った発信など)を行う。 ④留学生の就職活動を支援する。		
H29実績評価	①神戸市留学生奨学金の奨学生同窓会(会員約650人)を運営し、第3回送別会・同窓会を開催した。また、中国支部(天津)の第2回交流会を実施した。 ②市内の文化・社会教育施設(39施設)を留学生とその家族が無料で見学できる「はっぴいめもりーパスKOBÉ」を発行した(約7,500枚)。また、留学生が自国文化を市民に紹介する「留学生異文化サロン」やシルバークレッジ学生との交流事業などを実施した。 ③Facebookページ「Kokko Kobe(コッココウベ)」を運営し、留学生による神戸のおすすめの場所や店を情報発信した。 ④留学生の就職活動支援として「神戸グローバル経営塾」及び「就職フォーラム」を神戸市海外ビジネスセンターとの共催により開催した。(奨学生(30名)のうち10名が就職したが、そのうち4名が神戸で就職)		評価
			S A B C
H30事業目標	①留学生に対して神戸への理解や愛着を深めていただくことを目的に、市内施設の無料見学バスの発行などを行うとともに、市民と留学生との交流事業を実施する。 ②留学生の視点による情報発信(FacebookなどSNSを使った発信など)を行う。 ③留学生の就職活動を支援する。 ④神戸市奨学金の奨学生同窓会を運営し、人的ネットワークの形成を行う。		
評価担当者	総務課長 谷口英雄		

事業No.	4-D	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 4)
H29事業目標	天津及び上海において海外事務所を運営する。 ①天津事務所では、北京に近いという地の利を生かして、中国政府の情報収集や交渉支援にあたる。 ②上海事務所では、神戸港に関連する事業や観光客誘致などを中心に取り組む。		
H29実績評価	【天津事務所】 ①ジャイアントパンダ共同飼育繁殖事業の継続のため中国政府機関と協議を行うとともに、日中友好神戸市会議員連盟や王子動物園とも連携して、日本政府への要望活動も行った。また、天津有数のメディアカルクラスター代表団の訪神受け入れ等の経済交流事業、国際港湾都市フォーラムへの参加等の港湾交流事業、その他教育交流や文化交流を行うとともに、45周年記念事業の準備を進めた。 【上海事務所】 ②「神戸のつどいin上海」を開催した他、貨物船誘致により新規航路の開設を実現させるなどポートセールスを実施するとともに、香港ジュエリーショーにおける神戸パールのPRなど販路開拓事業等を実施した。		評価
			S A B C
H30事業目標	天津及び上海において海外事務所を運営する。 ①天津事務所では、北京に近いという地の利を生かして、中国政府の情報収集や交渉支援にあたる。また、平成30年度迎える神戸・天津友好都市45周年記念に向けて更なる連絡調整を行う。 ②上海事務所では、神戸港に関連する事業や観光客誘致などを中心に取り組む。		
評価担当者	総務課長 谷口英雄		

平成29年度 ミッションの達成評価シート2 [2次評価]

		記載日	平成30年8月23日
団体名	公益財団法人 神戸国際協力交流センター	所管局名	市長室

○所管局による総合評価(ミッションの達成評価)[2次評価]

コメント	<p>【ミッション毎の評価】</p> <p>1. 「ミッションNo.1-A」・・・評価(A) JICAからの受託研修としてコミュニティ防災や防災計画策定にかかる研修を行ったほか、ベトナム・ハナム省におけるものづくり人材育成事業を行った。また、カンボジアにおける教育支援による人材育成について、30年度からの市教員OB派遣に向け、カンボジア王国教育青年スポーツ省及びCIESFと協力協定を締結した。</p> <p>2. 「ミッションNo.2-B」・・・評価(A) 日本語文化サポーター事業や「神戸リビングガイド」の運営、三者通訳・同行通訳、「神戸国際交流フェア」、「神戸コミュニティフォーラム」に加え、ゆかたの着付けといった多文化交流会を行うなど、在住外国人支援・多文化交流施策を着実に実施した。</p> <p>3. 「ミッションNo.3-C」・・・評価(A) 近年急速に増える市内留学生への生活支援事業や市民と留学生の交流事業に引き続き取り組んだ。また、留学生の就職活動支援として、新たに「就職フォーラム」を神戸市海外ビジネスセンターとの共催により開催した。</p> <p>4. 「ミッションNo.4-D」・・・評価(A) 天津事務所においては、中国政府の情報収集や交渉支援、上海事務所においては、ポートセールスを中心としたシティセールスと、両海外事務所の特性を活かした業務を展開した。</p> <p>【総合評価の理由】 継続的・安定的な取組が求められる事業を着実に実施だけでなく、新たな取り組みや課題解決につなげる取り組みを実施するなど、市が団体に求めるミッションに合致した成果を上げることができた。</p>	総合評価
		<p>S</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p>
対応方法		
<p>（総合評価がB又はCの場合は必ず記載）</p>		
評価担当者	国際課長 丹沢 靖	